

地質調査計画の概要について

1. 調査の目的

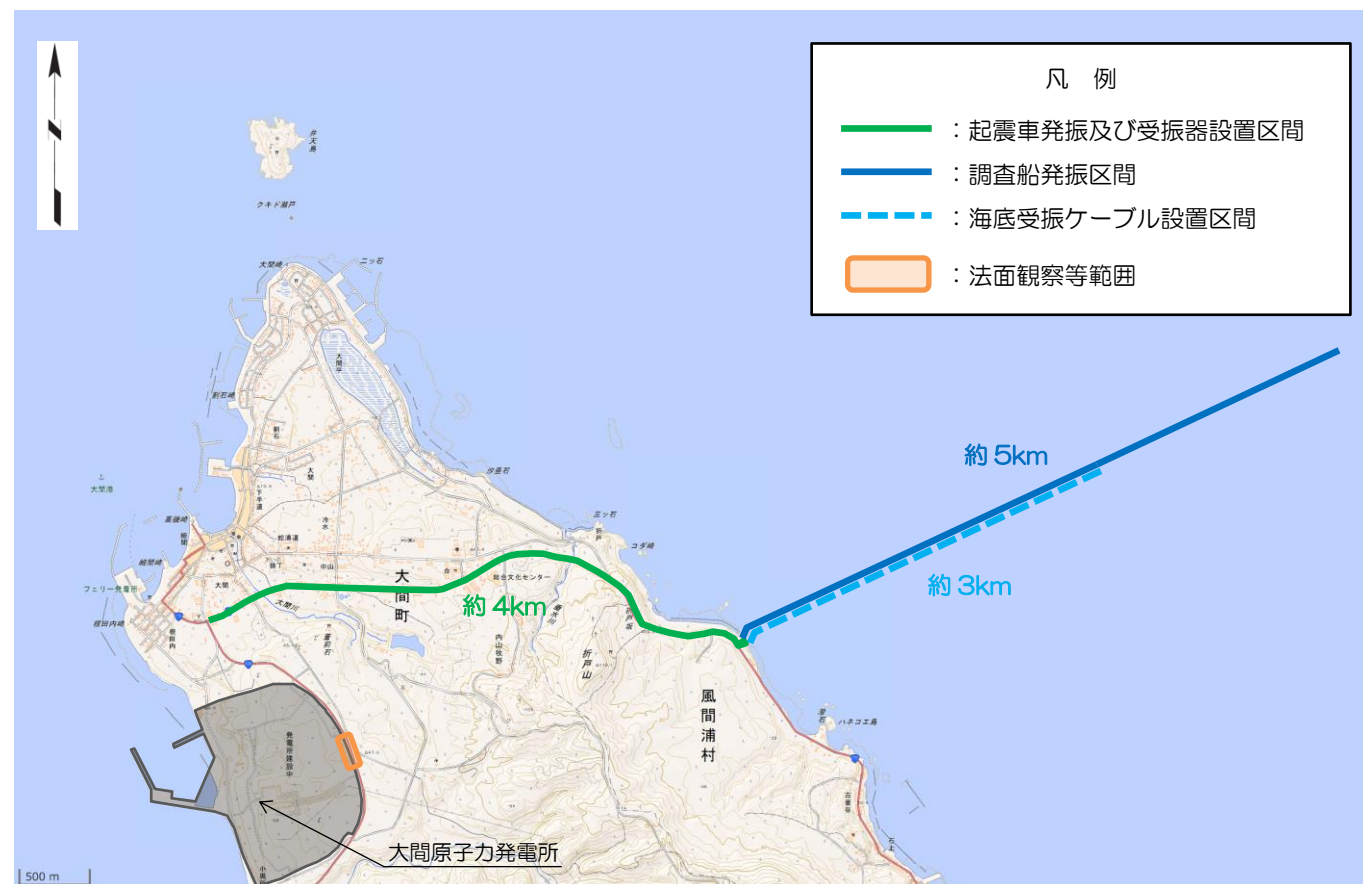
昨年開始した敷地周辺の地質調査データを整理・分析した結果を踏まえ、大間崎付近の弾性波探査等を実施します。

2. 調査計画の概要

調査の項目、目的、内容及び範囲は、表1及び図1のとおりです。

表1 調査計画の概要

項目	目的	内容
弾性波探査	大間崎付近の地質構造に係る補足データの取得	図2に示すとおり資機材を配置し、起振車(図3)及び調査船の船尾に設置した発振器(図4)で発振した弾性波を地表及び海底に設置した受振器で受振(図5)し、地質構造を把握
法面観察等	海成段丘面の地質情報等に係る補足データの取得	国道沿いの法面等において、表土を除去し地層を露出させた後、写真撮影、スケッチ、試料採取を行う法面観察(図6)等を実施



この地図は、国土地理院の地理院地図(電子国土Web)を使用したものである。

図1 地質調査範囲

3. 調査の時期

調査は、許認可手続きを経て、弾性波探査については5月中旬から2週間程度、法面観察等については3月下旬から3週間程度を予定しています。

なお、調査の進捗等に応じて調査時期は変わる場合があります。

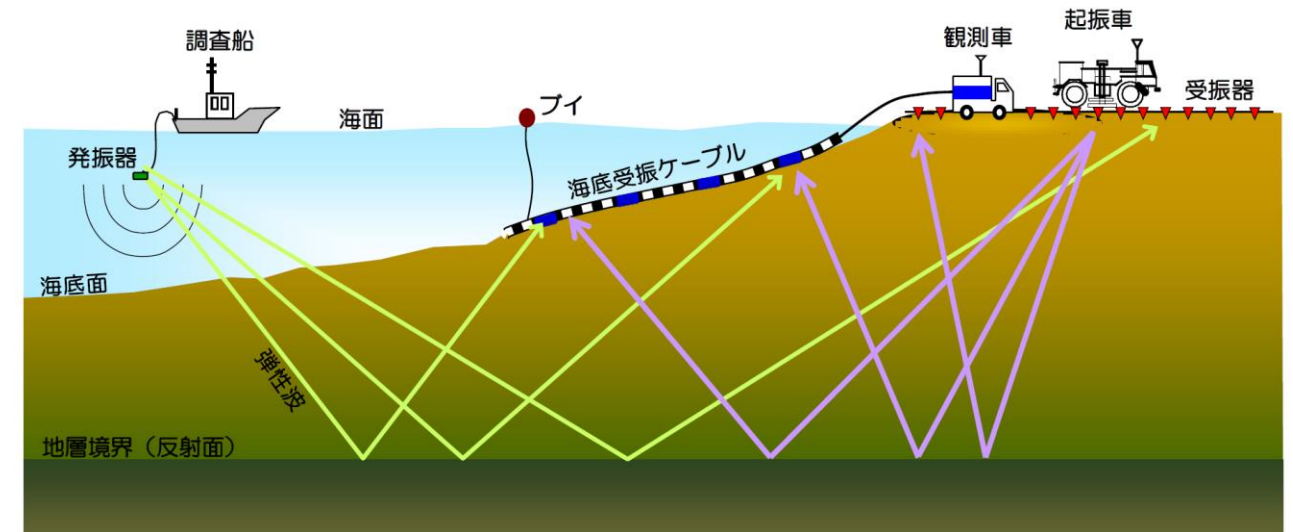


図2 弾性波探査概念図



図3 起振車による発振状況(事例)



図4 調査船による発振状況(事例)



図5 受振器の設置状況(事例)



図6 法面観察作業状況(事例)